

## 平成 29 年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 平成 30 年 2 月 9 日 (金) 10 : 00～10 : 50

(開催場所) エスポワールいわて 3 階特別ホール

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 委員長、副委員長の選任について
  - (2) 各専門委員会委員の指名について
  - (3) 平成 29 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について (報告)
  - (4) 平成 29 年度政策評価結果等の政策等への反映状況について (報告)
  - (5) その他
    - ・次期総合計画 (「いわて県民計画 (H21～H30)」の後継) の策定の方向性について (情報提供)
- 4 閉 会

### 委員

秋山信愛委員、石川奈緒委員、泉桂子委員、小笠原敏記委員、小野澤章子委員、  
小山田サナエ委員、加藤徹委員、狩野徹委員、工藤昌代委員、越谷信委員、  
斉藤徹史委員、島田直明委員、清水真弘委員、西田奈保子委員、山本清仁委員、  
吉野英岐委員

## 1 開 会

<事務局から開会宣告>

## 2 挨拶

○和川政策推進室主任主査 それでは、開会に当たりまして政策地域部長の藤田からご挨拶を申し上げます。

○藤田政策地域部長 政策地域部長の藤田でございます。本日は大変お忙しい中、また雪でお足元が大変悪い中、この政策評価委員会のためにお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

きょうの政策評価委員会は、委員の改選後初めての委員会ということでございますけれども、20 名の委員のうち 15 名が再任ということでございまして、これまでの県民計画に基づく政策評価につきましてご尽力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げたいと思います。

皆様もご承知のとおり、県では次の新しい総合計画の策定の準備に着手しておりまして、本日も最後の議事その他のところでご紹介させていただく予定でございますけれども、次の新しい総合計画というのが 2019 年度からの 10 年間ということでございまして、ちょ

うど今の県民計画からの切りかわりが皆様の任期の最中にあるということでございます。この新しい総合計画に基づいた評価の仕方をどうやっていくのかといった議論も、皆様の任期中にあらうかと思っております。

次の新しい総合計画の策定につきましては、現在総合計画審議会を中心に議論を進めているところでございますけれども、来年度あたりから徐々に具体的な構成とか、政策の体系といったことが明らかになってくると思います。皆様の任期中には、そういった新しい課題も出てまいりますので、そのときにはまた皆様の知恵を拝借させていただきたいというふうに思っております。

引き続きのご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。きょうは、どうぞよろしく願いいたします。

**○和川政策推進室主任主査** 申しわけございませんけれども、藤田は用務のため、この場で退席をさせていただくことになります。

なお、委員の皆様のお手元に、本委員会の辞令書をお届けしているところでございます。本委員会は、知事の諮問機関でございますので、本来であれば知事から直接お一人お一人に辞令書を交付すべきところではあるのですが、時間の都合もございますので、このような形にさせていただきました。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

なお、委員の任期につきましては、政策等の評価に関する条例の規定に基づきまして、ことしの2月1日から2年間、平成32年1月31日までとなっておりますので、よろしく願い申し上げます。

それでは、本日は委員改選後初めての会議ということになりますので、私のほうから委員の皆様を五十音順にご紹介をさせていただければと思います。

資料で言いますと、めくっていただいた五十音順の資料をごらんいただければと思います。ご紹介をさせていただくだけでございますので、特に立ってご挨拶等は不要でございます。

それでは、秋山信愛委員でございます。

お隣の石川奈緒委員でございます。

手前側になりますけれども、泉桂子委員でございます。

本日は欠席をしていらっしゃいます遠藤一子委員でございます。本日はご都合により、欠席をされております。

小笠原敏記委員でございます。

次に、小野澤章子委員でございます。

小山田サナエ委員でございます。

加藤徹委員でございます。

そして、狩野徹委員でございます。

工藤昌代委員でございます。

そして、本日欠席していらっしゃいますが、河野達仁委員でございます。ご都合により欠席をされております。

お隣の越谷信委員でございます。

斉藤徹史委員でございます。

島田直明委員でございます。

清水真弘委員でございます。

本日欠席していらっしゃいます竹内貴弘委員でございます。ご都合により欠席されております。

お隣の西田奈保子委員でございます。

本日欠席していらっしゃいます平井寛委員でございます。ご都合により欠席されております。

そして、山本清仁委員でございます。

そして、吉野英岐委員でございます。

本日の委員会でございますけれども、16名の出席でございます。委員総数20名の過半数に達してございますので、規定によりまして会議が成立するということをご報告申し上げます。

### 〔事務局から委員20名中16名の出席により会議が成立する旨の報告〕

## 3 議 事

### (1) 委員長、副委員長の選任について

○和川政策推進室主任主査 それでは、次の議事に入ります。

政策等の評価に関する条例の規定によりまして、会議の議長は委員長が務めることとされておりますけれども、本日が委員改選後最初の委員会でございますので、委員長が決まりますまでの間、暫時政策地域部副部長の南が議長役を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○南政策地域部副部長 政策地域部副部長の南でございます。それでは、大変僭越ではございますが、委員長が決まりますまでの間、暫時進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。恐縮ですが、座って進めさせていただきます。

それでは、議事の(1)、委員長、副委員長の選任についてであります。条例の規定によりまして、委員長及び副委員長の選任は委員の互選によることとされております。

互選の方法であります。いかなる方法で互選するかお諮りいたしたいと存じます。いかがでございましょうか。

特にご意見がなければ、事務局からの指名推選という方法によることとしてよろしゅうございますでしょうか。

「異議なし」の声

○南政策地域部副部長 ありがとうございます。それでは、事務局からの推薦をお願いいたします。

○和川政策推進室主任主査 事務局といたしましては、前任期に大規模事業評価専門委員会の副専門委員長をしていただきました加藤徹委員が委員長に適任と思われまますので、推薦申し上げます。

また、副委員長につきましては、政策評価に関する経験が豊富でありますとともに、「岩手の幸福に関する指標」研究会の座長も務めていただきました吉野英岐委員をご推薦さしあげたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○南政策地域部副部長 ただいま事務局から、委員長には加藤徹委員を、副委員長には吉野英岐委員をという推薦がございましたが、皆様ご異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○南政策地域部副部長 ありがとうございます。それでは、委員長に加藤徹委員、副委員長には吉野英岐委員がそれぞれ選任をされました。委員長、副委員長は、よろしくお願いいたしますと存じます。

それでは、早速であります、加藤委員長には委員長席にお移りをいただきまして、以後の議事の進行をよろしくお願い申し上げます。

○加藤委員長 それでは、ただいま委員長を命ぜられました宮城大学名誉教授の加藤でございます。専門は農業土木でありまして、これまで宮城県と福島県の公共事業評価委員会をそれぞれ10年ずつやらせていただいております。さらには、東北農政局の国営事業第三者評価委員会、さらには東北地方整備局関係の河川関係の整備委員会、河川の場合は整備委員会の中で評価も含むということで、今現在も1級河川の阿武隈川、名取川、鳴瀬川の委員会委員もやらせていただいております。そういうことで公共事業に関しては今までいろんな評価委員会に入れさせていただいているのですが、政策評価という部分については素人なものですから、勉強させていただきながら、何とか委員長の職を務めさせていただきたいと思っておりますので、何とぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## (2) 各専門委員会委員の指名について

○加藤委員長 それでは、座って進行させていただきます。お手元の次第によりまして、議事を進めさせていただきたいと思っております。

議事の(2)、各専門委員会委員の指名についてであります、条例の規定によりまして、当委員会には政策評価専門委員会、公共事業評価専門委員会及び大規模事業評価専門委員会の3つの専門委員会が設置されております。

各専門委員会に属すべき委員の指名につきましては、条例の規定によりまして、委員長が指名することとされておりますので、恐縮ですが、私のほうから指名させていただきます。

まず、政策評価専門委員会には、遠藤委員、小野澤委員、工藤委員、斉藤委員、西田委員、そして吉野委員の6名の方をお願いいたします。

それから次に、公共事業評価専門委員会には、石川委員、泉委員、小笠原委員、清水委員、平井委員、そして山本委員の6名の方をお願いいたします。

大規模事業評価専門委員会には、秋山委員、小山田委員、狩野委員、河野委員、越谷委員、島田委員、竹内委員、そして私、加藤、以上8名の方をお願いいたします。

が、各委員の皆様、それでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○加藤委員長 それでは、そのような形でよろしく願いいたします。

(3) 平成 29 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について (報告)

○加藤委員長 それでは、次に報告事項に移りたいと思いますが、議事の(3)、平成 29 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況につきまして、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

〔資料No. 1 に基づき説明〕

○加藤委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局からのご説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。何か理解できなかったとか、そういうところあれば、遠慮なくご質問いただければと思うのですが。よろしいですか。

「なし」の声

○加藤委員長 ありがとうございます。

(4) 平成 29 年度政策評価結果等の政策等への反映状況について (報告)

○加藤委員長 それでは、次に議事の(4)、政策評価結果等の政策等への反映状況について、これも事務局のほうからご説明をお願いします。

〔資料No. 2 に基づき説明〕

○加藤委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。ございませんか。

僕のほうから1つだけ確認させてもらってもいいでしょうか。5ページの先ほどの説明の中で、再評価の県土整備部の関連でしょうか、事業休止案件1件ありますが、これの休止の理由、どういう事業で、どういう理由でということが、分かればご紹介いただければと思います。

○和川政策推進室主任主査 5ページ目の上の(3)の再評価、事業休止1件でございます。急傾斜地崩壊対策事業でございます。こちらが休止になったのが地元との協議に時間を要してございまして、現時点ではなかなか事業が進捗する段階ではないということで、休止になったと伺ってございます。

○加藤委員長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。よろしいですね。

「なし」の声

## (5) その他

- ・次期総合計画（「いわて県民計画（H21～H30）」の後継）の策定の方向性について（情報提供）

○加藤委員長 では、次に進めさせていただきます。それでは、議事の（5）、その他としまして、次期総合計画（「いわて県民計画」の後継）の策定の方向性について、これについても事務局のほうからご説明をお願いいたします。

### 〔参考資料に基づき説明〕

○加藤委員長 ありがとうございます。ただいま次期総合計画の策定の方向性について、非常に詳しく、わかりやすくご説明いただきましたが、何か委員の先生方、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。こういう点は反映されるのかとか、何か忌憚のない意見があれば。

では、島田委員お願いします。

○島田委員 一番最後のでき上がっていくまでのイメージのところ、必要に応じて本委員会に意見がというお話もありましたけれども、具体的にどこら辺でどういうふうなタイミングでこちらにお話が来るのかとかという、そのイメージ的なところを教えていただければうれしいなと思います。

○和川政策推進室主任主査 それでは、私のほうからご説明をさせていただきます。

この段階ではっきりと申し上げることはできないところではございますけれども、今事務局のほうとして考えてございますのは、計画をつくるというのは評価と一体的な部分もございまして、政策評価専門委員会のほうで情報共有をさせていただく場を設けさせていただければなというふうに考えているところでございます。それにつきましては、差し支えなければ、この後の政策評価専門委員会のところでご相談を差し上げたいなと思っております。

○小野政策推進室政策監 特に次期総合計画をつくるに当たりまして、先ほど概要のみでございまして、幸福度といったものをどのように位置づけていくかといったところは、次期総合計画をつくる中で非常に重要なポイントというふうに考えております。先ほど主観的指標、それからそれを補う形の客観的指標といったことを申し上げておりますけれども、まだ内部でもこれをどのように計画の中に明確に位置づけていくのか、あるいはその評価の中でどのように幸福度といったものと次期総合計画のPDCAサイクルを絡めていくのかといったところにつきましては、具体的な議論はこれからでございまして、まだ具体的なところにつきましては申し上げられませんが、またそこについて事務局といたしまして検討を進める中で、先ほど話がございましたけれども、政策評価専門委員会にも、情報共有する機会を設けさせていただければと考えております。

○和川政策推進室主任主査 すみません、ちょっと私言葉足らずなところがありまして、



誤解を招く表現だったかなということで、少し訂正をさせていただきます。

評価専門委員会としてご議論いただくのは、評価をどうするかというような観点、例えば調書をどうしていこうとか、そういったところでご議論をいただければと思ってございまして、あくまでも計画本体につきましては総合計画審議会等がございまして、そちらでご議論いただくことになっています。政策評価専門委員会では、評価や評価調書をどうするか議論するために情報提供、情報共有という形でご説明をさせていただくことになろうかなと思ってございます。

○加藤委員長 ありがとうございます。島田委員、よろしいでしょうか。

それでは、そういう情報を共有するために随時、もしよろしければ各専門委員会にも参考までに報告いただく機会をとっていただければと思います。

○和川政策推進室主任主査 かしこまりました。そのようにさせていただければと思います。よろしく願いいたします。

具体的には、先ほどスケジュールで申し上げました6月に総合計画審議会からの中間答申がございまして、これによりまして、大体大きな中身というものが明らかになりますので、これを踏まえまして県としては素案をつくりまして、この先のタイミングで各専門委員会等の開催も予定されていると思いますので、そこに情報提供、情報共有させていただければと考えております。

○加藤委員長 それでは、よろしく願いいたします。

そのほかご質問等ございませんでしょうか。

はい、どうぞ。秋山委員。

○秋山委員 スライド番号5ページのところの計画の役割というところで、これは私の感想と意見ということになると思いますが、「県民等のあらゆる構成主体が自ら取組を進めていくためのビジョンともなるもの」というところがありますけれども、非常にこれはいい視点だなというふうに思っております。

県のほうとしては、最終的な目的がどこにあるのかというところを踏まえて方向性を出すということになると思いますが、その際にはいろいろな関係する構成主体があると思いますので、その意見を十分酌み上げた上で、その構成主体が自ら取り組みを進めていくような具体的な政策を進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○小野政策推進室政策監 ありがとうございます。現行のいわて県民計画も同様でございますけれども、計画の基本的な考え方といたしまして、地域経営といった考え方を掲げてございます。これは、県全体としてさまざまな取り組みを進めていく中で、当然でございますけれども、行政のみで何かができるといったことではございません。多様な主体がそれぞれ役割を担いながら地域づくりを進めていくといったことが重要と考えております。

そういったことで今回シートのところにも、そうした考え方を掲げたところがございます。

後ろのほうのシートにも書いてございますけれども、計画の策定に当たりまして、さまざまな審議会、団体との意見交換、また岩手にお住まいになっている外国人の皆さん、それから各広域圏のさまざまな地域経営会議等ございますので、これまでもそういったところで意見交換させていただいておりますし、また今後もある程度形が見えてくる中で、改めて地域ごと、各分野においても説明させていただきながら意見交換を進めてまいります。よろしく申し上げます。

○加藤委員長 ほかにご質問等ございませんでしょうか。何といたっても人口が減少するという予測の中、さらにはAI、人工知能の導入、もっともっと進化してくるだろうと推測される中で総合計画をつくられるというのは非常に大変なことだと思いますが、ぜひいい計画をつくっていただくようお願いしておきたいと思います。

それでは、ご意見がなければ、本日用意されました議事はここで終了させていただきたいと思います。皆様にはご協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局のほうにお返しいたしますので、よろしく申し上げます。

○和川政策推進室主任主査 加藤委員長、大変ありがとうございました。

#### 4 閉 会

<事務局から閉会宣告>